

## 第 6 グループ

## 令和 1 年度 第 3 回 議事録

【年間テーマ 抑制を緩和していくタイミングと取り組みについて考える】

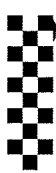
令和 1 年 11 月 18 日提出

日付	令和 1 年 11 月 9 日 (土)			
場所	TPKガーデンシティ博多駅新幹線		記録者名: 岩田 彩子	
出席者 (敬称略)	大倉 五月	岩永 浩二	宮崎 朝子	岩田 彩子
	松本 大輔	浅田 義雄	松尾 雅寛 (林)	佐藤 美香
テーマ	チェックリストをもとに抑制緩和や廃止のタイミングについて考える			
結論	抑制緩和や廃止に不可欠なタイミングが、バラバラとのグループ内での意見があった。アセスメントシートを用いてセンサーマットを使用している所があり、センサーコードが鳴り時間帯や理由を知らずに対応の統一化がほしいと考える。患者の状態を把握し、抑制緩和および廃止について話し合おうと考える。			
決定事項	発表における内容、レイアウト作成等の確認を行った。			
備考				
次回討論項目	発表テーマの目的(理由)、チェックリストを用いてどう対応かの結論(文章)をまとめる。			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)



## 抑制廃止とケアの質を高める会 11月定例会 Q&A

先日、事務局に以下の質問が寄せられました。届けられた現場の悩みを私たちも共有しながら、一緒に考え、善い解決策を見出しましょう。

### 【A病院からのQ】

急性期病院から転院してきた場合、前病院でミトン、体幹、四肢抑制をしていた、という患者さんが多いのですが、そのような場合（そのような情報があるのに）何もしないで事故につながるリスクを考えると、最初は抑制→解除の方向に向かうのが良いのかと考えてしまいます。最初は何もしなくて、その日のうちに経鼻胃管を抜いて、抑制（ミトン）という例も多いです。そのような情報を得ての判断基準、フローチャートなど他施設での流れを知りたいです。

### 【私たちのA】

前病院の情報をもとに判断し、着用ありかその後の状況を見て着用継続か解除ありかを判断している。

### 【B病院からのQ】

- ① どの位の量の薬剤が抑制になるのでしょうか。
- ② 行動制限中、毎日観察は行っているが、評価は週1回、カンファレンスは4週に1回していますが・・・良いのでしょうか。

### 【私たちのA】

個人差もある為、どの位で抑制の単位判断に「ありか」が「みずかしい」が、服用して次の日もききあぎている等があれば主治医に報告を行って判断してもらっている